

令和6年度 D評価以下の取組まとめ

基本 目標	基本 施策	具体的な取組	担当課	評価の要因・理由	今後の対策
1	②	(2)不妊治療への助成	健康課	年度末申請の完了を交付要件としていたところを、年度をまたいでの申請が可能となるよう改正したことにより、駆け込み申請が翌年度になったものとする。	申請件数は増加傾向にあると考えるが補助額の見直しを検討し、近隣自治体との均衡を図りたい。
3	②	(4)美食のまち・姉妹都市サンセバスティアンの活用促進	産業観光課	・連携事業者数が頭打ちの状況であるため。	・観光協会と連携し、イベント内容の発信等でチャコリの更なる普及を行い、国際交流のきっかけ作りに努める。
3	③	(3)女子サッカーによるまちづくりの推進	スポーツ推進課	少子化や多様なスポーツの普及推進もあり、女子サッカーを行う児童・生徒が増えない。	女子サッカー交流大会は運営や方向性を変えて実施も検討する。
3	③	(4)スポーツ合宿の誘致	産業観光課	・新型コロナウイルス感染症の流行を契機に、大学等が団体での合宿を控える傾向になったため。	・引き続き制度の周知を行い、事業の活用を促す。
3	④	(3)農泊事業との連携	地域づくり課	・尾上邸の運営にあたり、採算性に見合う利用者数の確保ができていないため。	・昼間の見学者数は継続して一定の成果を得ているが、宿泊者数は企業関係者の利用減に伴い目標値を達成できなかった。今後は、オプションメニューの充実や宿泊PRの強化を図っていく。

基本 目標	基本 施策	具体的な取組	担当課	評価の要因・理由	今後の対策
4	③	(1)自主防災組織の充実	危機管理課	・令和6年能登半島地震などの影響により防災意識は向上したものの、訓練参加者数はコロナ禍以前の水準とほぼ同数であり、目標値に達しなかったため。	・夏季の訓練時は熱中症の懸念があるため、訓練の時期、時間帯、内容の再考を提案するとともに、災害に対する日常への備えを周知し、防災意識の向上を図り、参加を募ることに努める。
4	③	(3)交通安全、防犯教室による意識啓発	生活環境課	犯罪発生件数が昨年と比較し増加しているため。	警察や関係機関と連携し、キャンペーンや市ホームページ等で周知啓発を行い、犯罪の未然防止に努める。